

# 2019年度 第2四半期 決算説明資料

2019年11月12日（火）  
船井電機株式会社

証券コード 6839

## I. 決算概要（連結）

1. 第2四半期(2019年7月-9月) 決算概要
2. 第2四半期累計(2019年4月-9月) 決算概要
3. 第2四半期累計(2019年4月-9月) 経常利益・四半期純利益
4. 機器別売上高
5. DM関連機器の売上高
6. TV関連機器の売上高
7. PS機器の売上高
8. 仕向地別売上高
9. 営業利益増減要因
10. 貸借対照表の状況
11. 棚卸資産
12. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

# 1. 第2四半期(2019年7月-9月) 決算概要



〈単位：億円〉

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比 ( )は増減率
売上高	251	265	+14 (+5.6%)
営業利益 (営業利益率)	△4 (△1.6%)	△10 (△3.8%)	△6
経常利益 (経常利益率)	7 (2.9%)	△7 (△2.5%)	△14
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	6 (2.7%)	△7 (△2.6%)	△13

期中平均為替レート (米ドル)	111. <sup>88</sup> 円	107. <sup>67</sup> 円
-----------------	----------------------	----------------------

月末為替レート (米ドル)	18年6月	18年9月	19年6月	19年9月
	110. <sup>54</sup> 円	113. <sup>57</sup> 円	107. <sup>79</sup> 円	107. <sup>92</sup> 円

## 2. 第2四半期累計(2019年4月-9月) 決算概要

〈単位：億円〉

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計計画	2019年度 2Q累計	前年同期比 ( )は増減率	計画比 ( )は達成率
売上高	467	400	421	△46 (△9.9%)	+21 (105.3%)
営業利益 (営業利益率)	△16 (△3.5%)	△19 (△4.8%)	△19 (△4.5%)	△3	△0
経常利益 (経常利益率)	△2 (△0.4%)	△19 (△4.8%)	△18 (△4.3%)	△16	+1
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	6 (1.4%)	△19 (△4.8%)	△19 (△4.4%)	△25	△0

期中平均為替レート (米ドル)	110. <sup>70</sup> 円	107. <sup>89</sup> 円	108. <sup>67</sup> 円
-----------------	----------------------	----------------------	----------------------

月末為替レート (米ドル)	18年3月	18年9月	19年3月	19年9月
	106. <sup>24</sup> 円	113. <sup>57</sup> 円	110. <sup>99</sup> 円	107. <sup>92</sup> 円

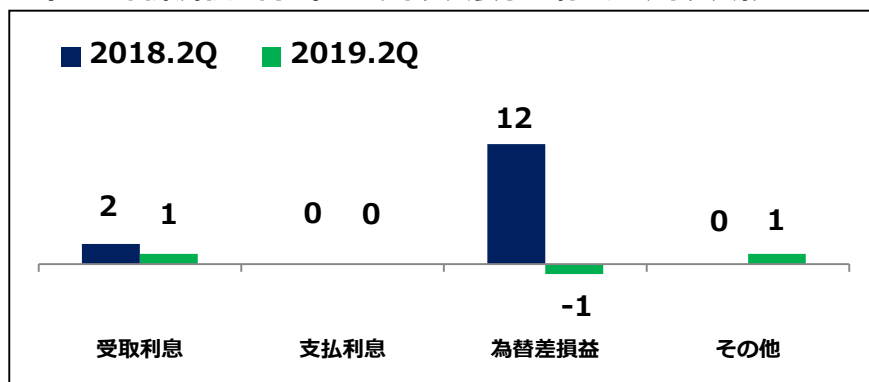
### 3. 第2四半期累計(2019年4月-9月) 経常利益・四半期純利益



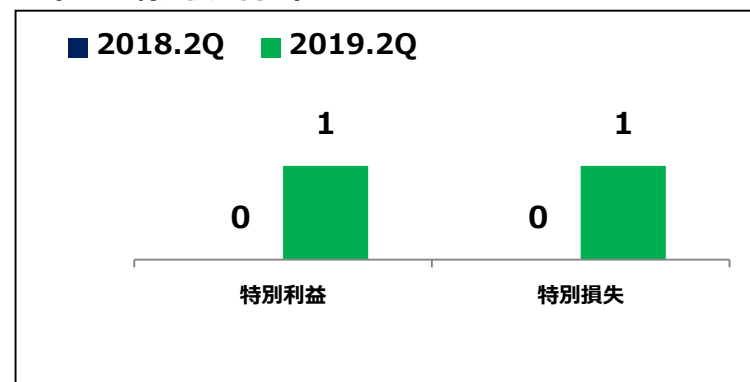
〈単位：億円〉

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年同期比
<b>営業利益</b>	△16	△19	△3
営業外収益	(※1) { 15	5	△10
営業外費用	1	4	+3
<b>経常利益</b>	△2	△18	△16
特別利益	(※2) { 0	1	+1
特別損失	0	1	+1
<b>税引前純利益</b>	△2	△18	△16
法人税等	△8	1	+9
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	6	△19	△25

(※1 営業外損益内訳) マイナス表示は利益にマイナス影響



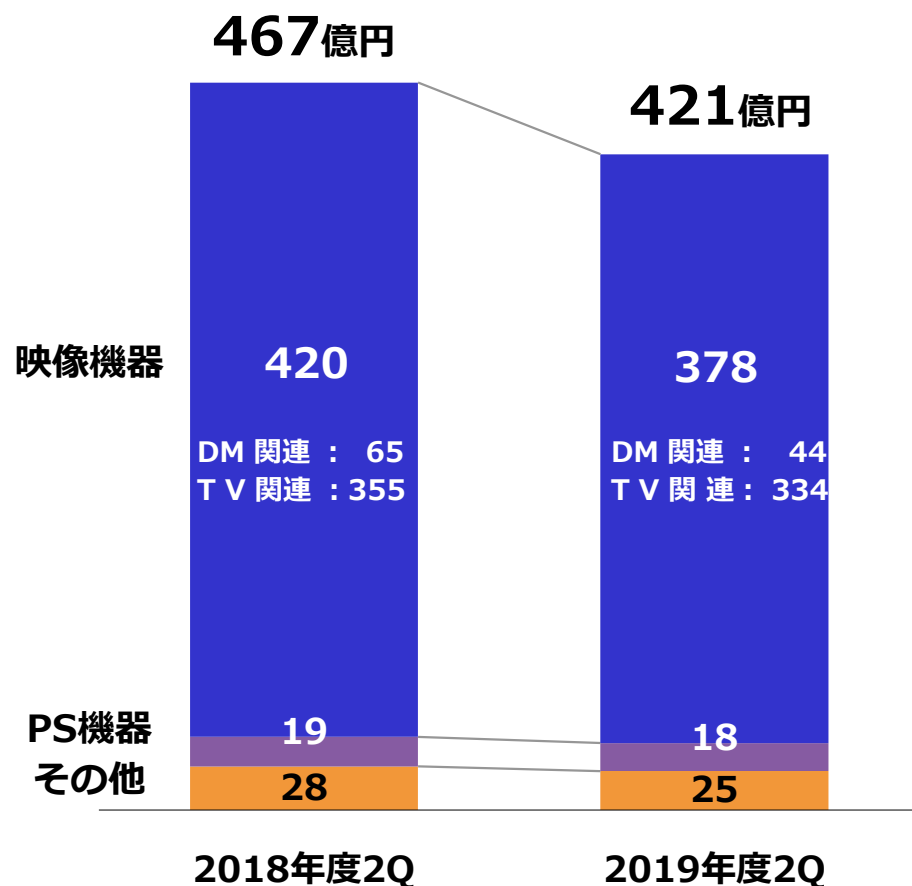
(※2 特別損益内訳)



# 4. 機器別売上高

- 映像機器：米中貿易摩擦の影響にてDM関連及びTV関連の売上減少により減収
- PS機器：新製品であるネイルアートプリンター並びに大容量IJPの増収も、ラベルプリンター、インクカートリッジの売上減少により減収

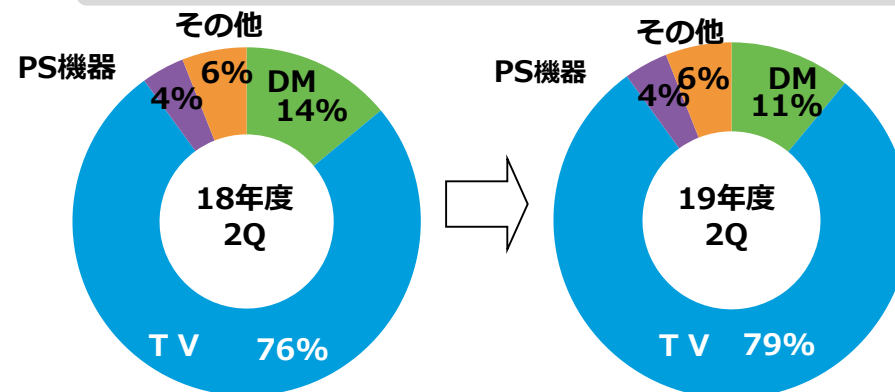
〈単位：億円〉



前年同期比 ( ) は増減率

映像機器	△42億円	( △9.9%)
DM 関連	△21億円	(△32.6%)
TV 関連	△21億円	( △5.8%)
PS機器	△1億円	( △4.2%)
その他	△3億円	(△13.2%)
<b>合計</b>	<b>△46億円</b>	<b>( △9.9%)</b>

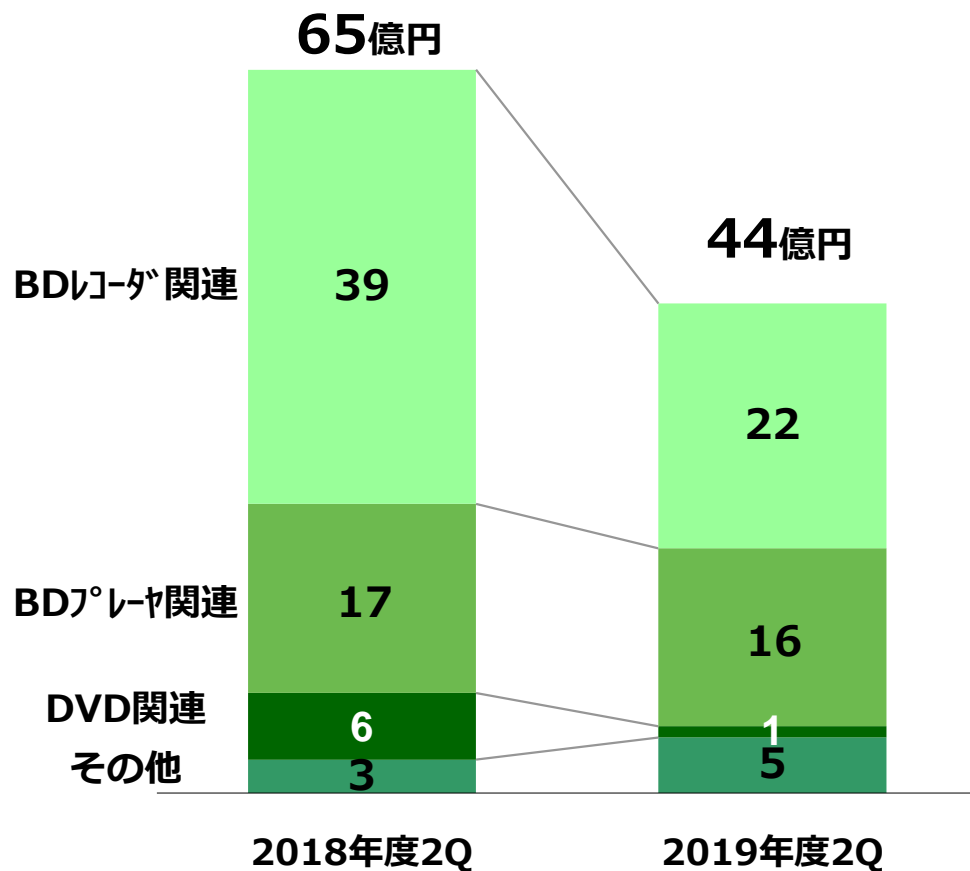
売上構成比



# 5. DM関連機器の売上高

➤ 映像ストリーミングサービスの普及やスマートテレビの需要が伸びていることからDVD・BD関連製品の需要が想定以上に落ち込んだことなどにより減収

〈単位：億円〉

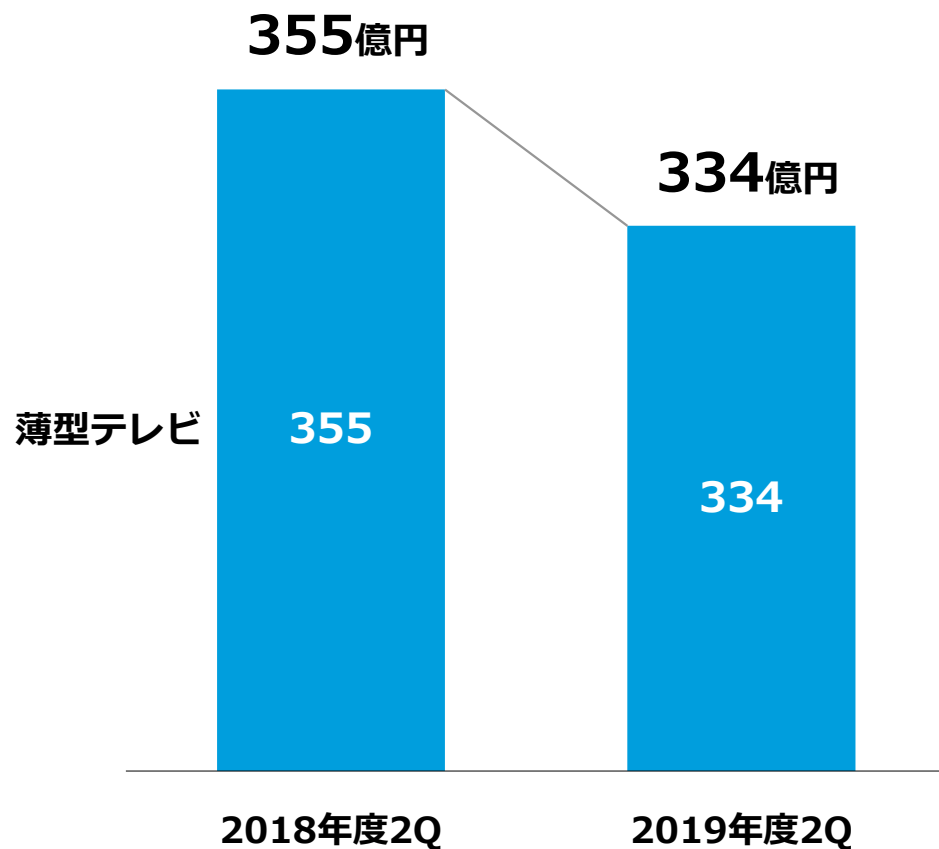


	前年同期比	( )は増減率
BDレコーダ関連	△17億円	( △42.6%)
BDプレーヤ関連	△1億円	( △6.6%)
DVD関連	△5億円	( △90.9%)
その他	+2億円	( +72.2%)
<b>合計</b>	<b>△21億円</b>	<b>( △32.6%)</b>

## 6. TV関連機器の売上高

- 米中貿易摩擦の影響にて、過剰在庫による新規販売が伸び悩むと同時に価格競争激化による販売単価の急激な下落などにより減収

〈単位：億円〉



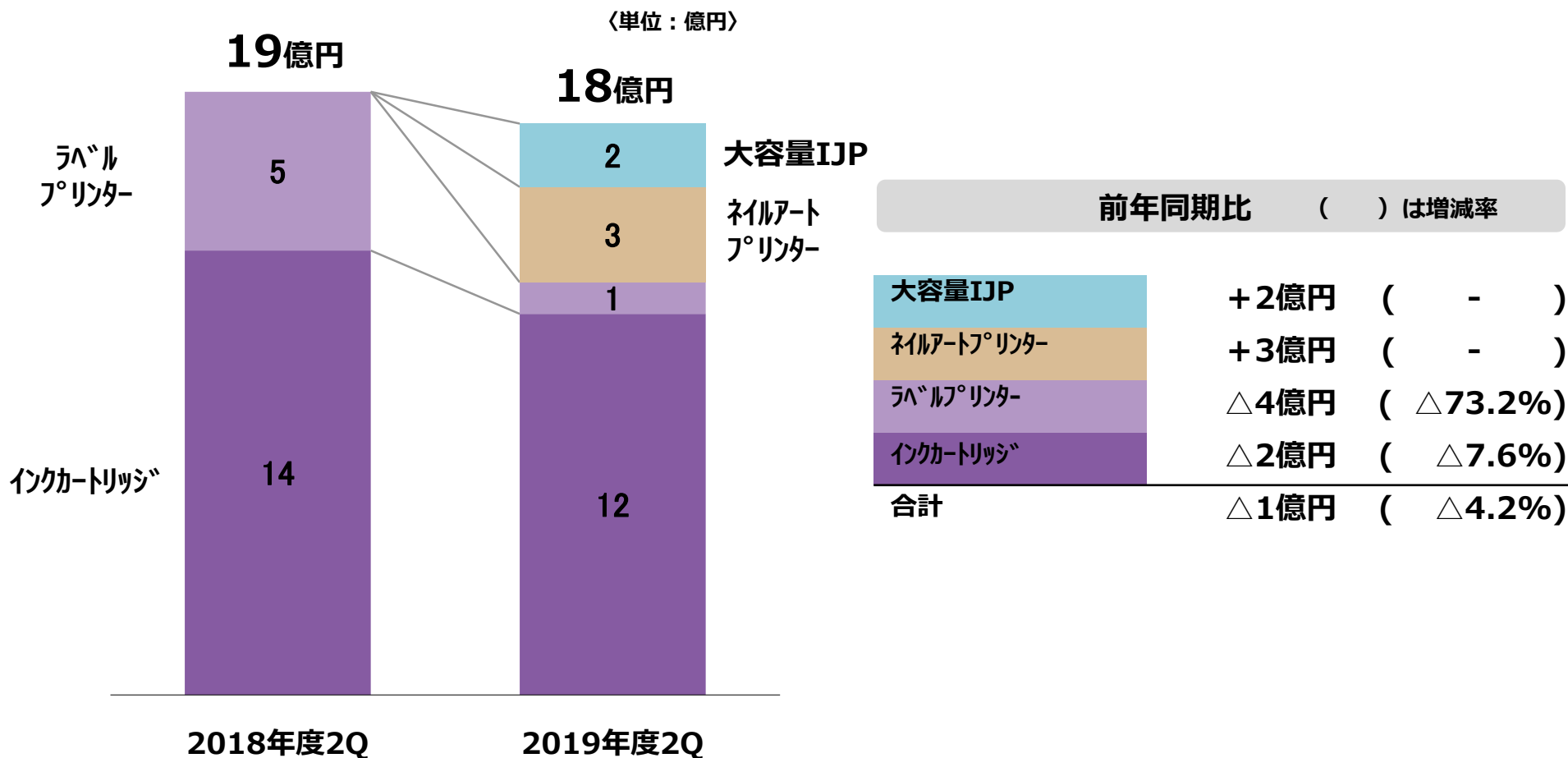
前年同期比 ( ) は増減率

薄型テレビ  $\Delta 21$ 億円 ( $\Delta 5.8\%$ )



# 7. PS機器の売上高

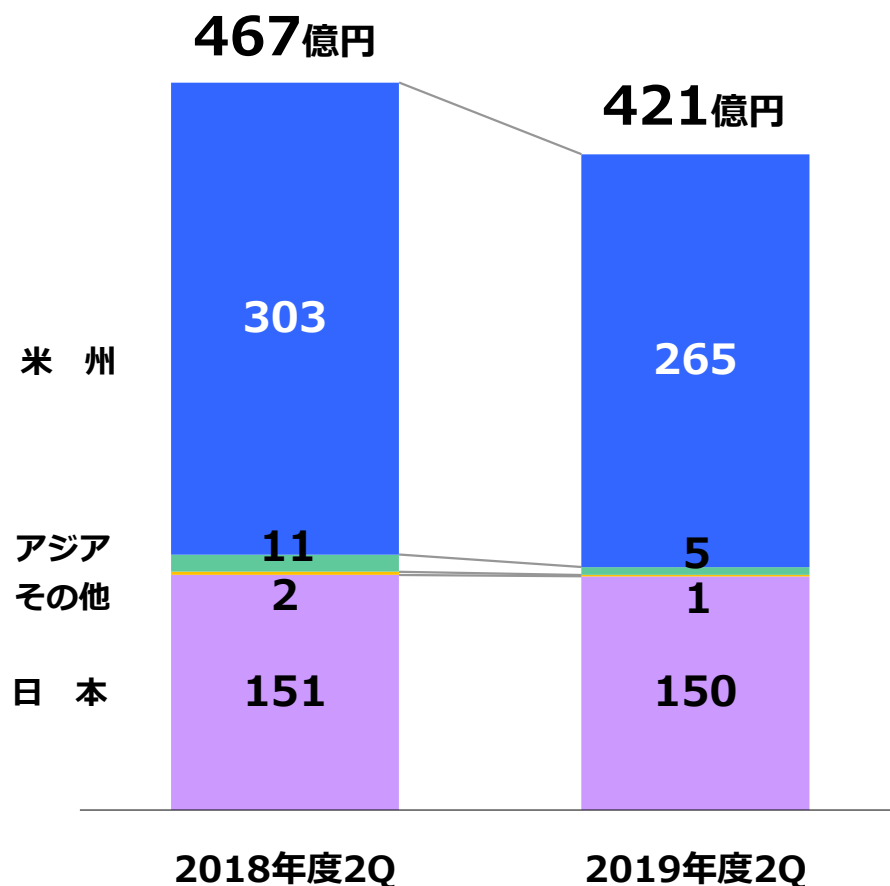
➤ 新製品であるネイルアートプリンター、大容量IJPによる増収も、インクジェットプリンター向けインクカートリッジの販売減少、ラベルプリンターなどの販売が伸び悩み減収



# 8. 仕向地別売上高

- 米州：米中貿易摩擦の影響により、北米マーケット全体で過剰在庫となりテレビ、DVD・BD関連製品の新規販売は伸び悩み減収
- 日本：FUNAIブランドの刷新、ネイルアートプリンターの市場投入など計画通り推移

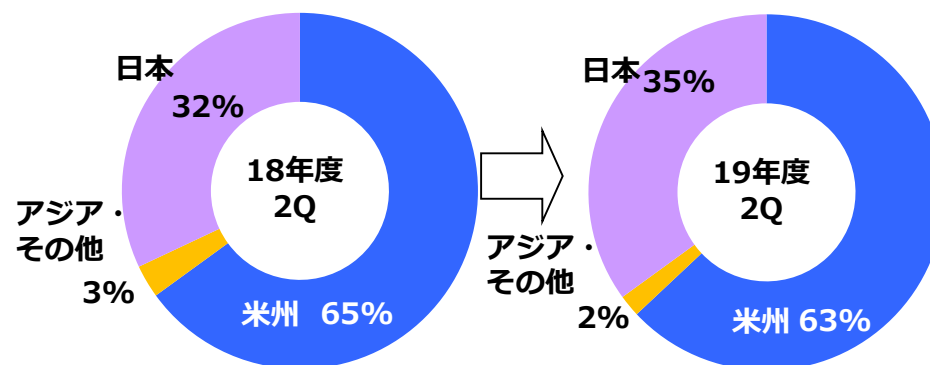
〈単位：億円〉



前年同期比 ( ) は増減率

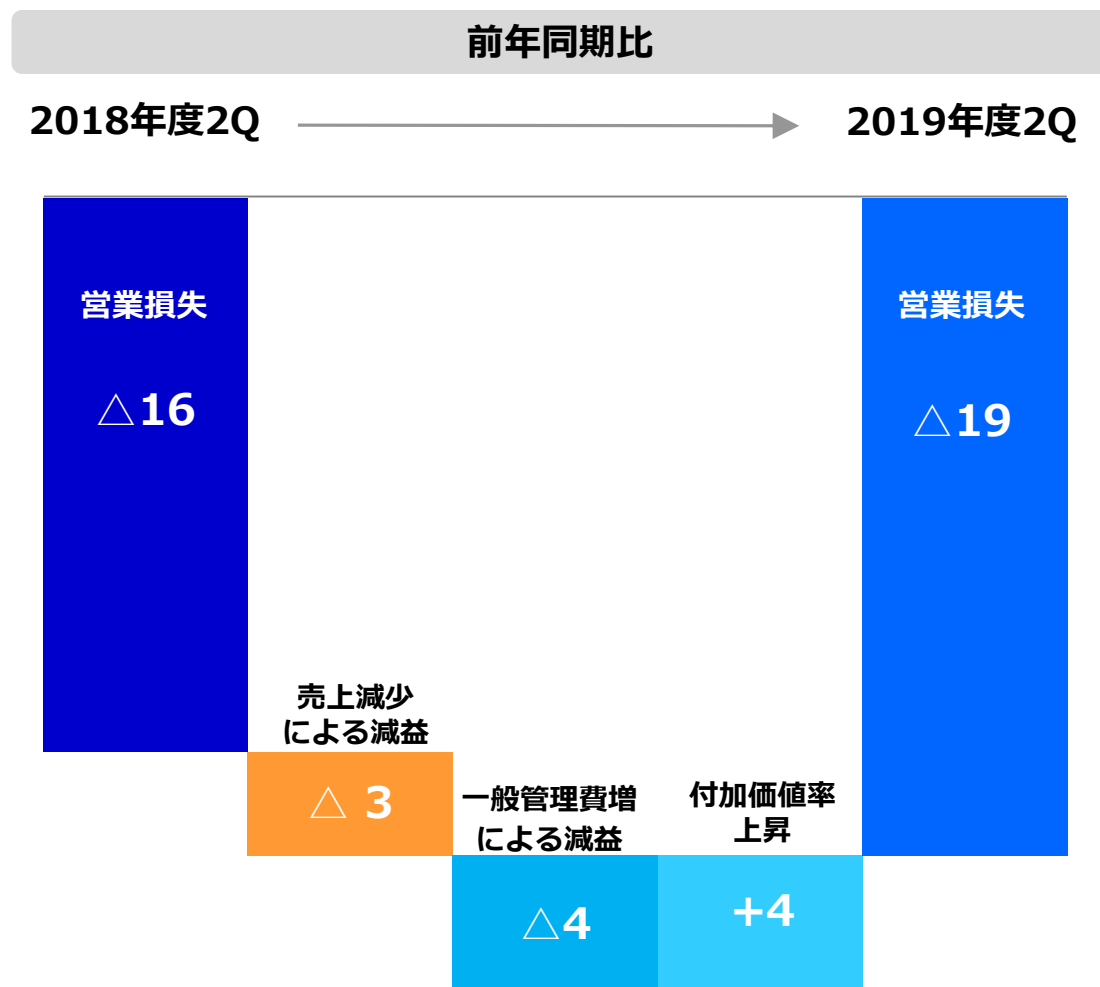
米州	△38億円	(△12.7%)
アジア	△5億円	(△56.3%)
その他	△1億円	(△16.0%)
日本	△1億円	(△0.9%)
<b>合計</b>	<b>△46億円</b>	<b>(△9.9%)</b>

売上構成比



# 9. 営業利益増減要因

〈単位：億円〉



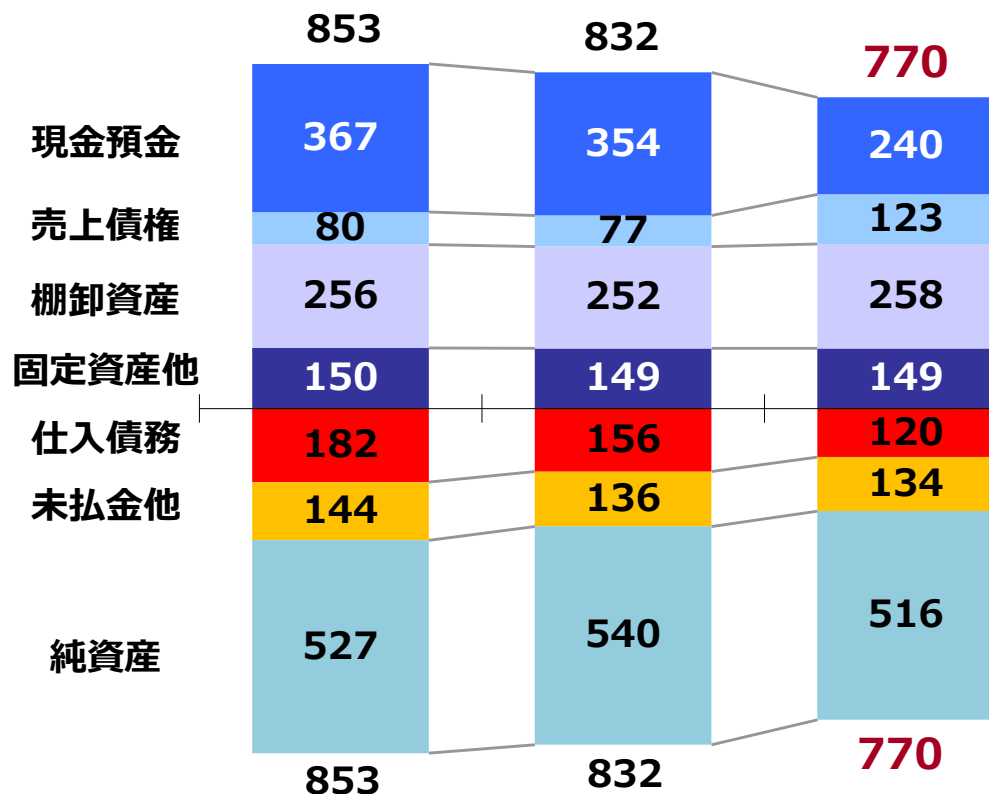
# 10. 貸借対照表の状況

〈単位：億円〉

2019年3月末比

資産の状況

負債・純資産の状況

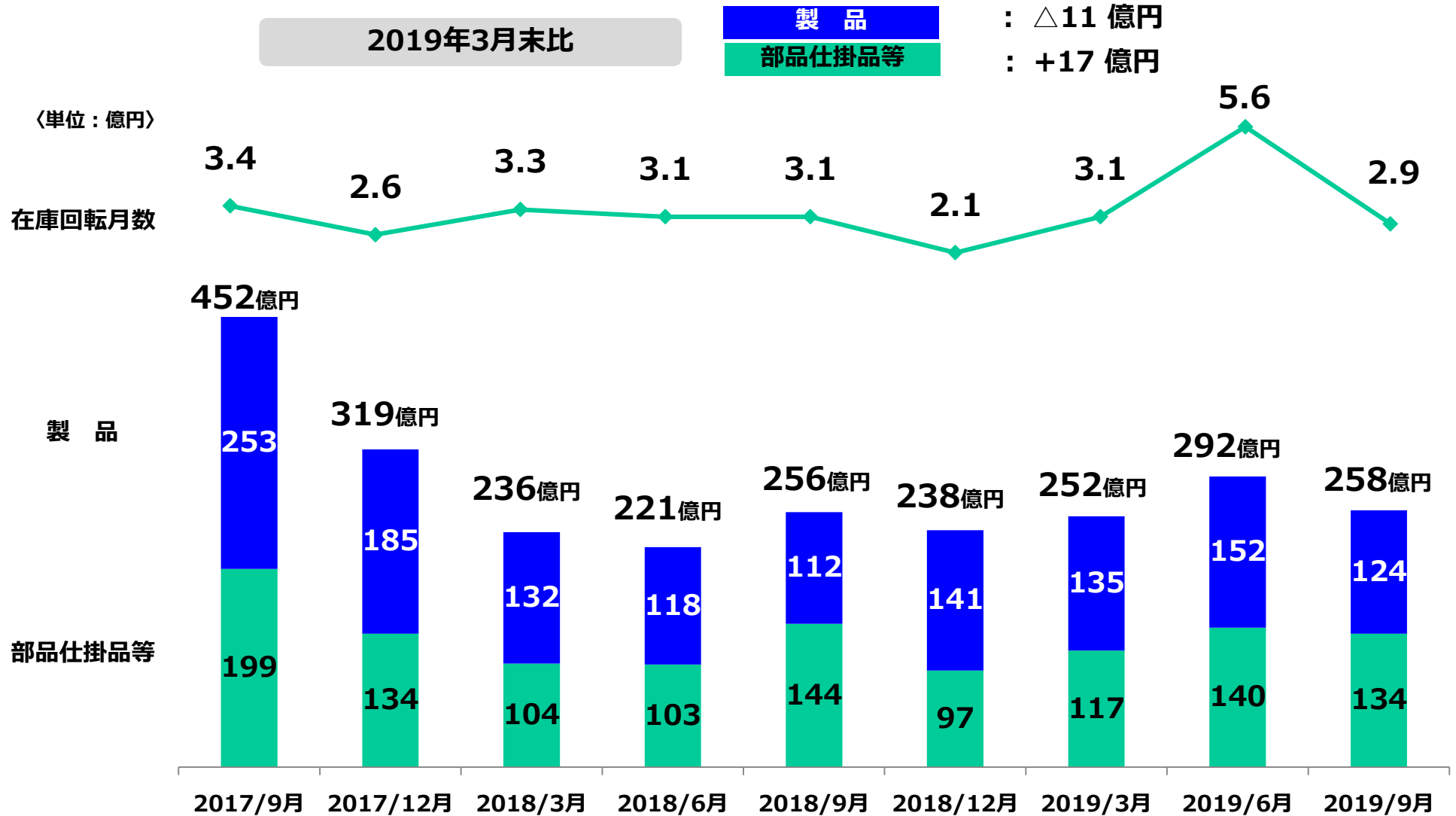


資産の状況	△62億円
・現金預金	△114億円
・売上債権	+46億円
・棚卸資産	+6億円
・固定資産他	+0億円

負債の状況	△38億円
・仕入債務	△36億円
・未払金他	△2億円
純資産の状況	△24億円
(自己資本比率)	67.0%

2018年9月末      2019年3月末      2019年9月末

# 11. 棚卸資産



\*在庫回転月数 = 直近3か月売上平均 ÷ 棚卸資産

# 12. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## 第2四半期

設備投資額

減価償却費

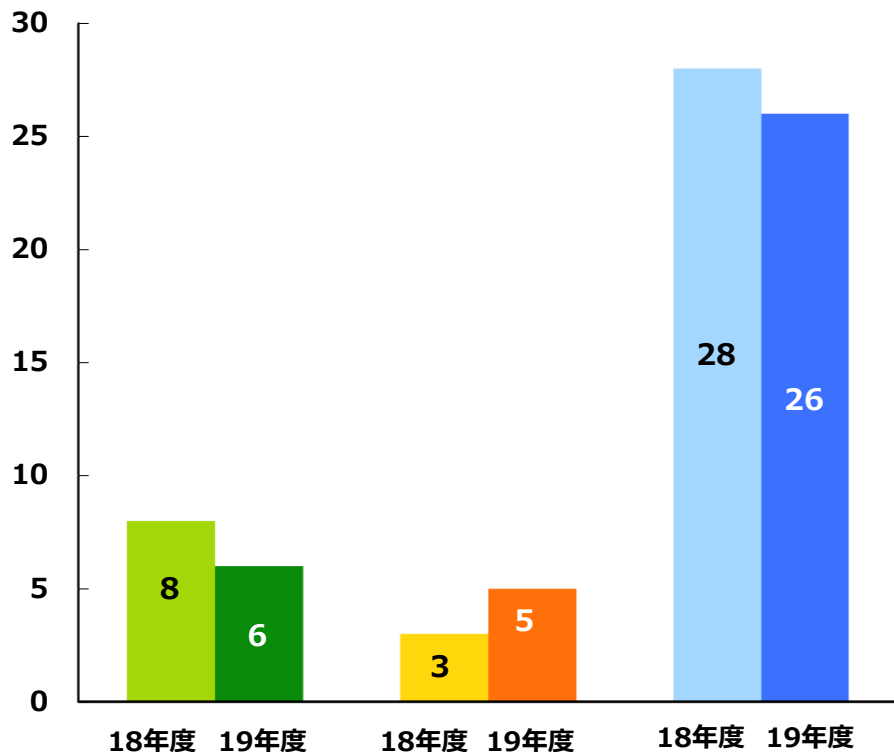
研究開発費

前年同期比  
△2億円

前年同期比  
+2億円

前年同期比  
△2億円

〈億円〉



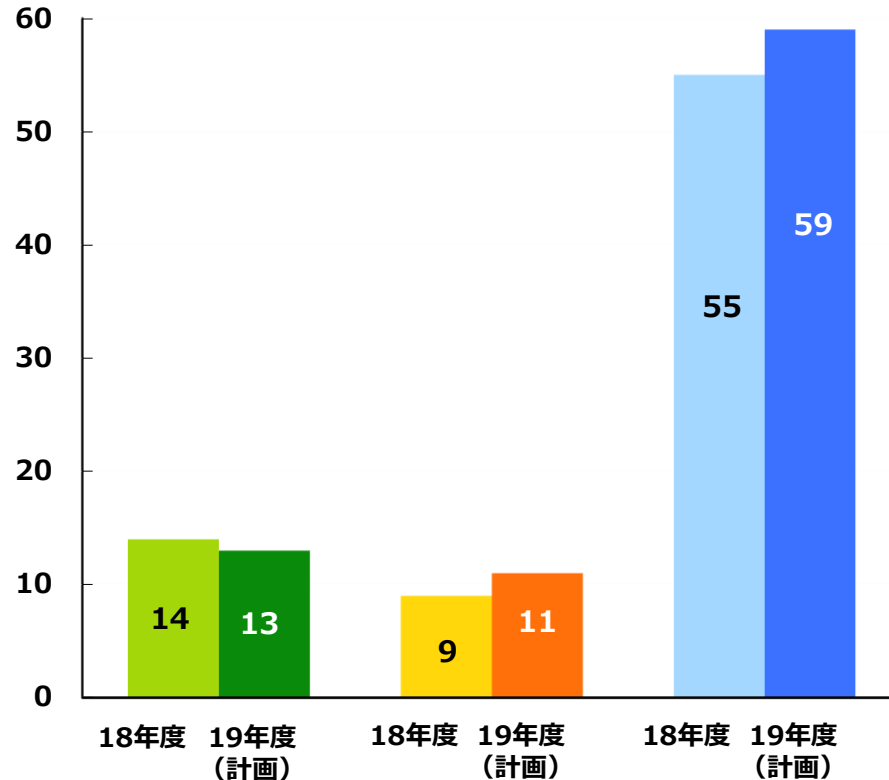
## 通 期

設備投資額

減価償却費

研究開発費

〈億円〉



# 2019年度上期の振り返りと 今後の施策について

2019年 11月12日 (火)

船井電機株式会社  
代表取締役 執行役員社長  
船越 秀明

- 既存事業(AV事業)の状況と下半期の対応
  - ・ 米国市場
  - ・ 国内市場
  
- 新規事業の本格化について
  - ・ プリンティングソリューション事業
  - ・ 車載関連事業
  - ・ その他アライアンスの推進

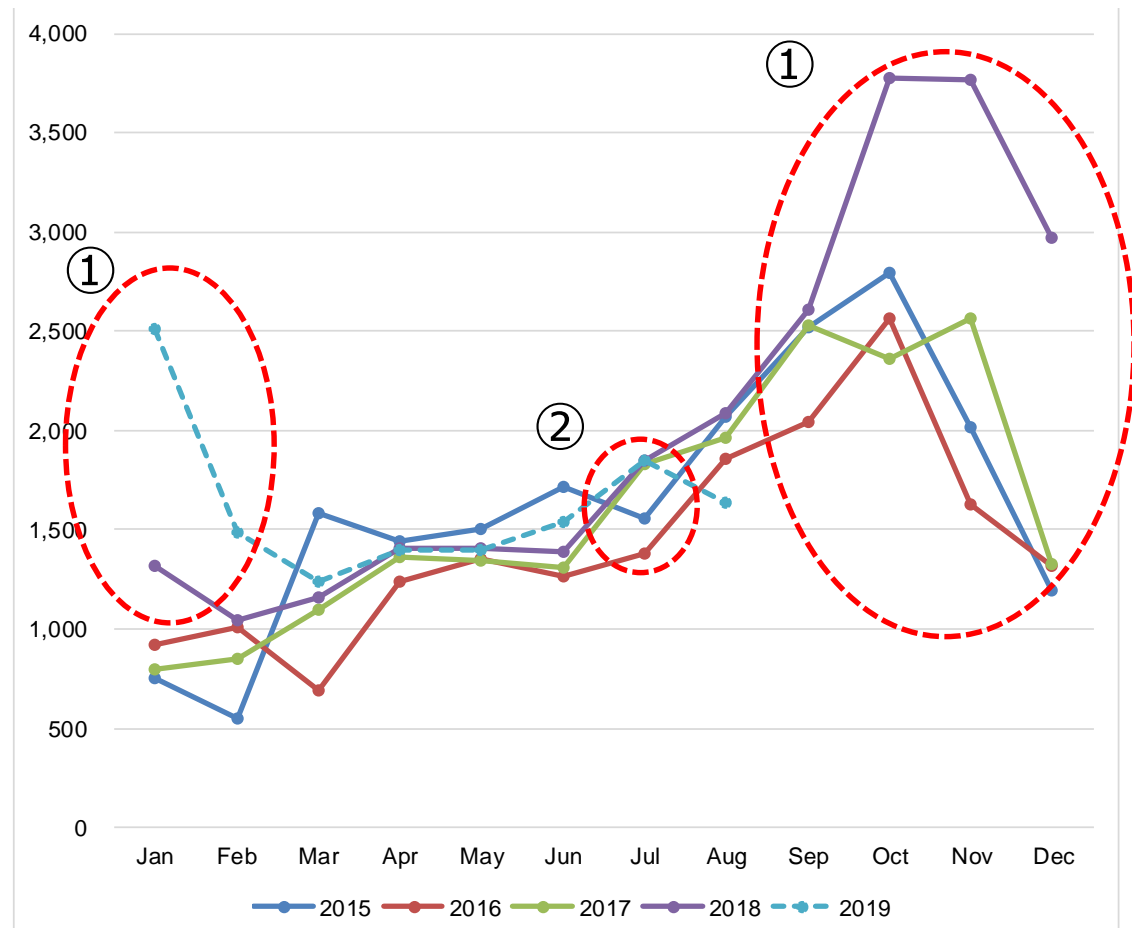


## 米中貿易摩擦の影響を受けた米国市場概要

### 米国テレビ市場 在庫が過剰に

- 2018年7月、対中追加関税が発表。  
テレビへの課税前の駆け込み対応で9月以降、対米の中国テレビの輸出が急増。中国経済悪化で中国からの輸出が米国へ振向られたことも影響。  
⇒①
- 2019年6月G20で対中関税が当面見送り決定。以降中国から米国への輸出が再度、増加⇒②
- 一方、米国のテレビ需要は横ばい
- 在庫過剰により需給バランスが崩れ製品価格下落

中国から米国市場へのテレビ輸出

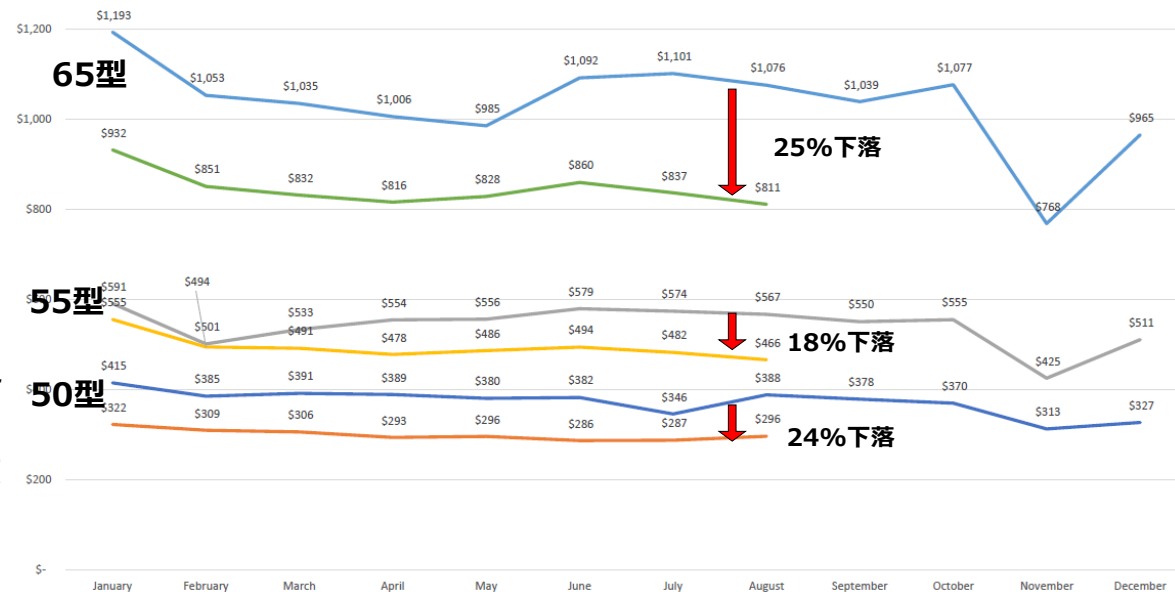


# 米中貿易摩擦の影響を受けた米国市場概要

## 液晶テレビ価格急落

- 中国液晶パネルメーカーによる過剰なパネル供給  
 ※32型オープンセル取引価格  
 2019年5月より3割以上下落
- パネル価格下落とテレビ流通在庫過多により、製品価格が急落  
 ※特に大型サイズの価格が大幅下落

液晶テレビサイズ別価格推移



## 米中貿易摩擦の影響を受け減収減益

追加関税発動予告



中国メーカーによる  
対米輸出前倒し



米国テレビ市場 在庫過剰

中国経済悪化



売先を中国から米国へ振向



パネル需給バランス崩れ



パネル価格が毎月下落



液晶テレビ価格急落

2019年度 業績予想修正(8/5公表)

## ➤ 既存事業(AV事業)の状況と下半期の対応 ①米国市場

### 上期の 反省

- ・ 市場変化に対しタイムリーに価格対応できず
  - ⇒受注減、売上減
  - ⇒在庫増、利益圧迫



### 下期の 対応策

- ・ 32型以外のパネル在庫を1か月分に絞る
- ・ Googleとの連携強化 ⇒ Android TVの拡販
- ・ セルアウトの徹底管理により、在庫適正化
- ・ 積極的な価格対応とコストダウンの徹底による受注確保



『4Kで観る。4Kで録る。』薄型テレビ  
4シリーズ全7機種を7月20日(土)発売

**FUNAI**

有機ELテレビ

×



**YAMADA**

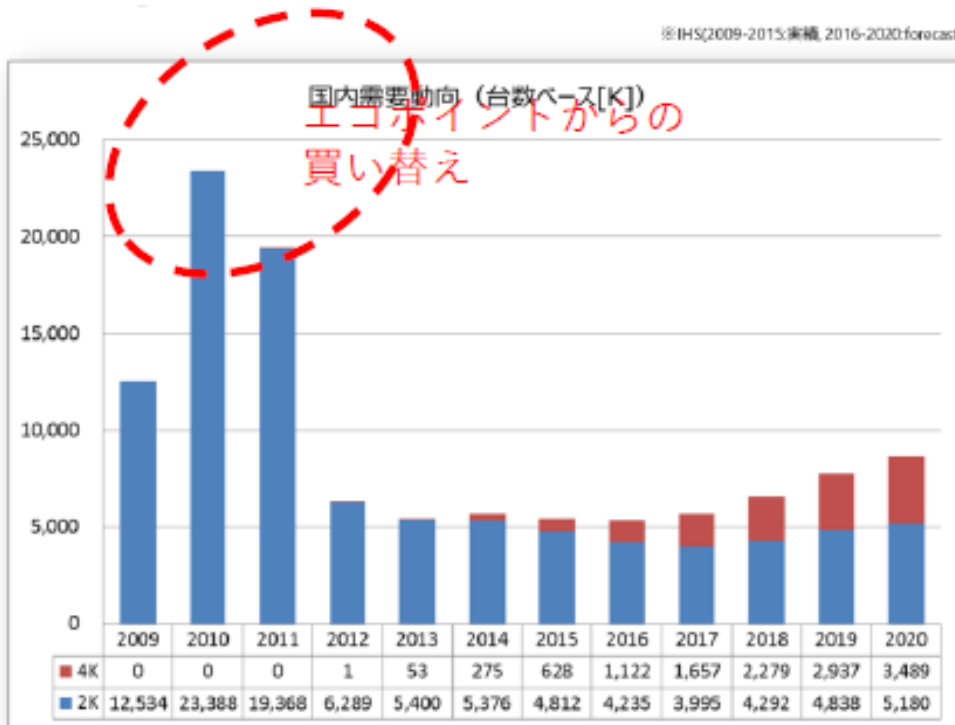
## ■国内AV事業 (TV・BD)

- ハイエンドモデルの投入  
⇒4Kチューナー/HDD内蔵 有機ELテレビ  
⇒4K Ultra HD BDレコーダー
- 幅広いニーズ向け4Kモデルを用意  
⇒4Kチューナー・HDD 搭載/非搭載モデル  
⇒それぞれのニーズに合った製品を  
リーズナブルな価格で提供
- 2Kモデル/安価モデル  
⇒安定的にシェア拡大  
⇒増税後も想定以上に好調に推移

順調に国内シェアを安定して確保

## ➤ 既存事業(AV事業)の状況と下半期の対応 ②国内市場

国内のテレビ需要動向



### ■国内AV事業 (TV・BD)

- 4kの需要が右肩上がりに推移
- 高付加価値テレビの販売比率 増加
- 地デジ特需(2010年)の買替需要・スポーツイベント需要の取り込み

### 国内市場の2020年度の成長に期待

- 2020年4月以降新モデル投入予定
- OLED 4機種含む  
FUNAIブランド全13機種

## プリンティングソリューション事業戦略

### 1 : カートリッジ販売による安定的な黒字体質確保

パッケージ印刷

ラベル印刷

食品・錠剤印刷

### 2 : 保有技術に基づく新たな成長事業の創生 ⇒新たなアプリケーションによる市場創造



ネイルアートプリンター



P&G協業



マルチプリンター展開

## 2 : 保有技術に基づく新たな成長事業の創生 ⇒新たなアプリケーションによる市場創造

### ■ネイルアートプリンター

暮らしを楽しくする世界初のアプリケーションをプリンティング技術で創造する

- FUNAIモデル国内発売開始  
(2019年6月1日)

- 海外市場へ展開 (アジア、中南米etc)



ネイルアートプリンター





## 2：保有技術に基づく新たな成長事業の創生 ⇒新たなアプリケーションによる市場創造

### ■ P&Gとの協業

暮らしを楽しくする世界初のアプリケーションをプリンティング技術で創造する

**計画通り推進中**

**P&G**



### 化粧デバイス『Opté』

- インクジェットプリンターテクノロジーを美容製品への応用
- 2020年販売に向けて、カートリッジを年内量産開始

※当社は吐出デバイス（カートリッジ）を最終商品用に開発しております

## 2 : 保有技術に基づく新たな成長事業の創生 ⇒新たなアプリケーションによる市場創造

### ■マルチプリンター

暮らしを楽しくする世界初のアプリケーションをプリンティング技術で創造する

- 紙以外の立体物への印刷
- BtoB展開によるカートリッジ販売拡大



Café Art Printer

➤ 新規事業の本格化 ①プリンティングソリューション事業

新製品デモ



Café Art Printer

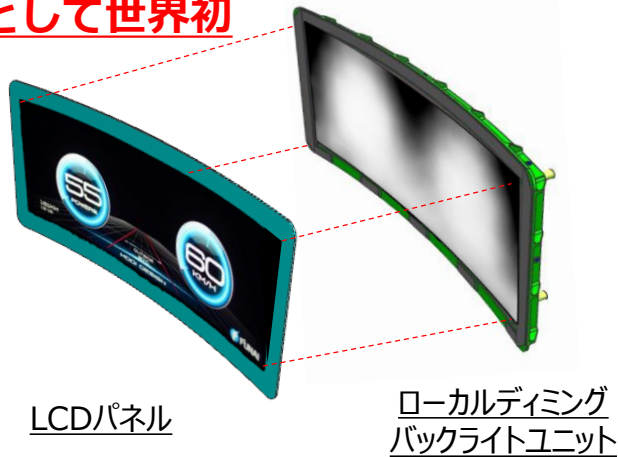


Lunch Box Printer

## ■ 車載関連の事業化

### ・ダイレクト方式バックライト

車載用として世界初



### ・メータークラスタ



- 2019年12月 量産開始 (2機種)
  - 2020年10~12月 量産開始 (2機種)
- その他Tier2、Tier1メーカーと試作、商談を進行中

#### 【特徴】

薄型・直下型ローカルディミング バックライトユニット

・当社独自の光均一化技術を使用し、車載ディスプレイの技術トレンドである多様化(※)を実現

※多様化=フリーフォーム(異形、湾曲)

高画質(高輝度、高コントラスト)

- ダイレクト方式の特徴を生かしたメータークラスタを開発中
  - バックライトの他、船井の映像技術を使ったメータークラスタ他の車載ディスプレイ機器を開発中
- ※CES2020でコクピットコンセプトを展示

## ■ 車載関連の事業化

### ・スキャナミラー(応用例)

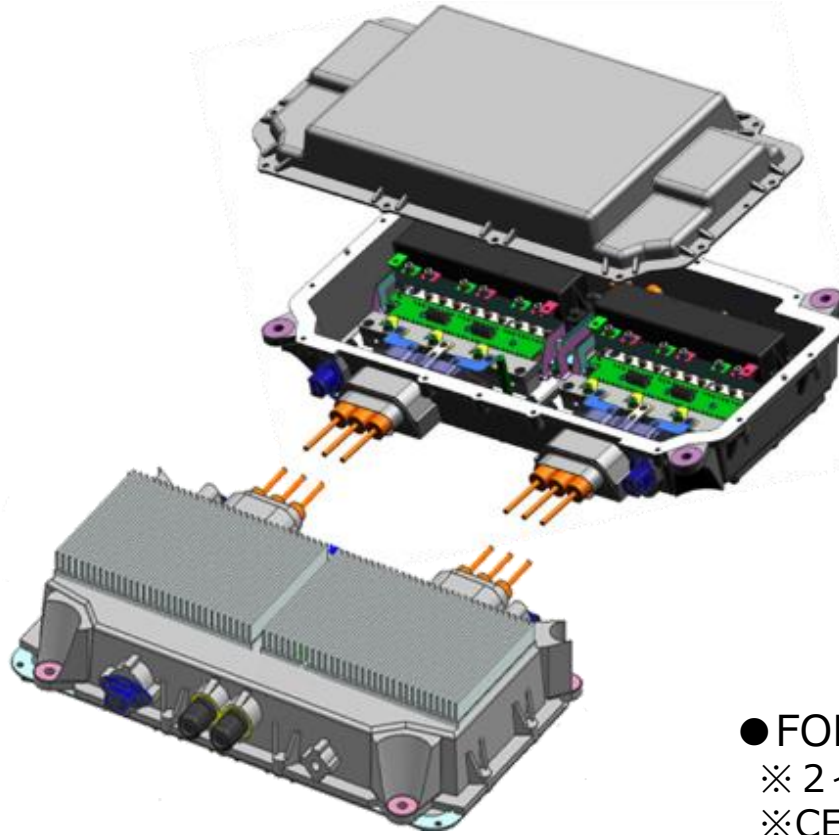
ADBスキャナユニット

※2020年量産開始を目標に開発中



## ■ 車載関連の事業化

### ・インバータユニット



- FOMM次世代車両向けインバータを開発中
- ※ 2インホイールモータ用インバータ
- ※ CES2020で原理試作モデルの動作展示

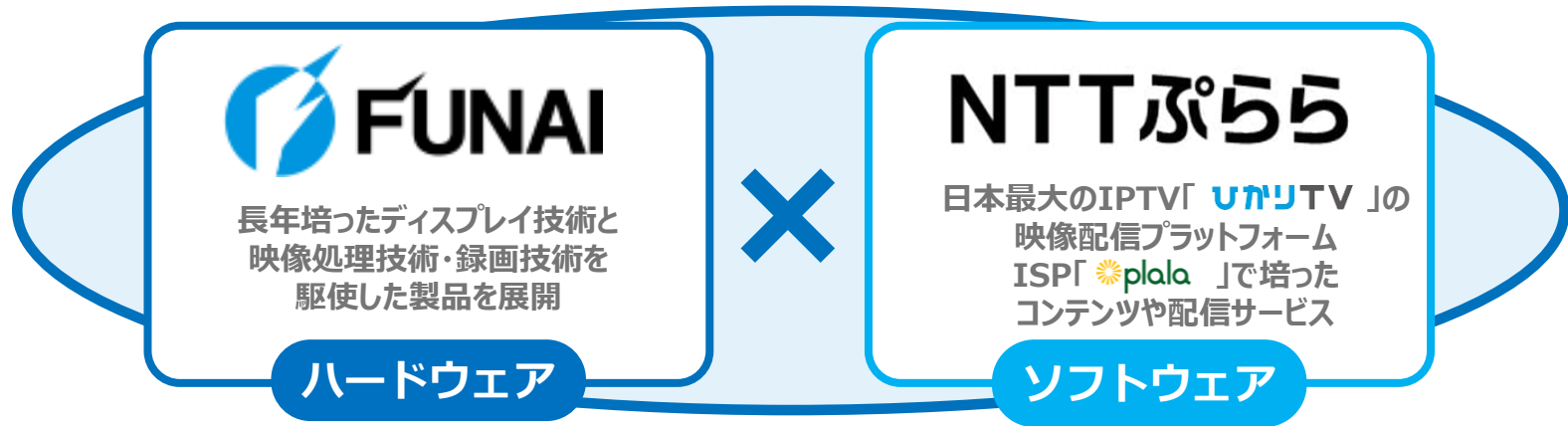
## ■ 車載関連の事業化

### ・ R O K I との協業



- 二輪車を含む車載用エレクトロニクス機器の開発推進
- R O K I が有する車載関連ノウハウ・ネットワーク活用
- 安全性、利便性、環境対応
  - ⇒船井：エレクトロニクス技術による安全性、利便性のノウハウ
  - ⇒R O K I：フィルトレーション技術による環境対応のノウハウ

## ■ NTTぷららとの業務提携



5G 時代を見据え、「デバイスと ICT や AI 等」が既存の枠組を超えて融合した新しい製品やサービスの創出をめざす

- 5G、クラウド、AIを活かした新しいサービスとコンテンツを楽しむハードウェアを開発





## 補足資料

1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移（四半期）
3. 仕向地別売上高の推移（四半期）

# 1. 四半期別決算概要

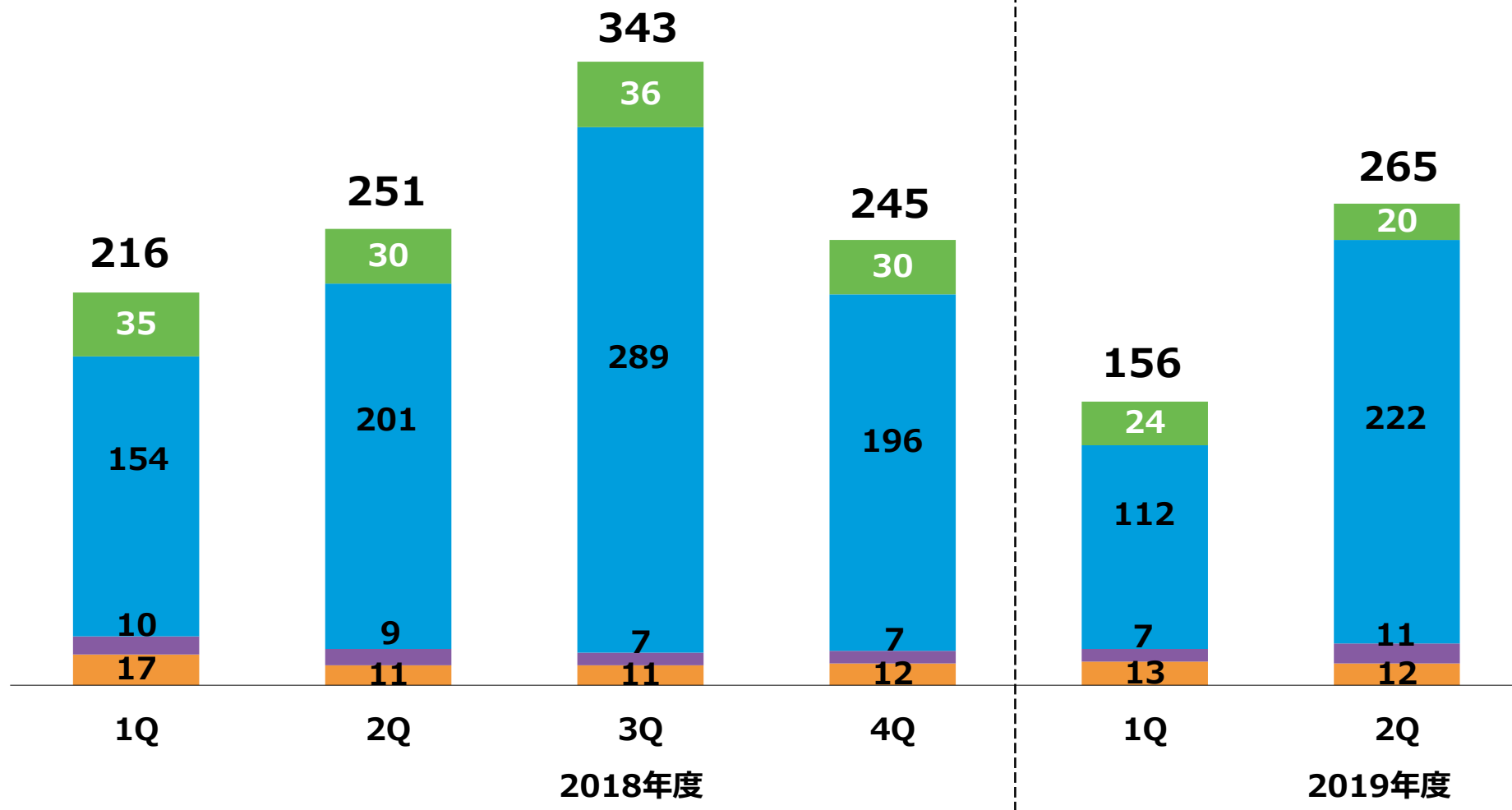
〈単位：億円〉

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	216	251	343	245	156	265
営業利益	△12	△4	11	11	△9	△10
(営業利益率)	(△5.7%)	(△1.6%)	(3.4%)	(4.8%)	(△5.8%)	(△3.8%)
経常利益	△9	7	+0	14	△12	△7
(経常利益率)	(△4.2%)	(2.9%)	(0.2%)	(6.1%)	(△7.3%)	(△2.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△0	6	+0	19	△12	△7
(四半期純利益率)	(△0.1%)	(2.7%)	(0.2%)	(7.8%)	(△7.6%)	(△2.6%)
為替レート (円/米国ドル)	109. <sup>53</sup>	111. <sup>88</sup>	112. <sup>57</sup>	110. <sup>27</sup>	109. <sup>66</sup>	107. <sup>67</sup>

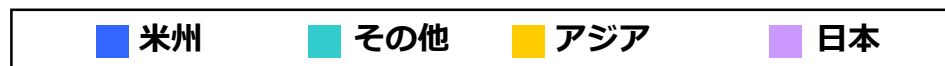
## 2. 機器別売上高の推移（四半期）



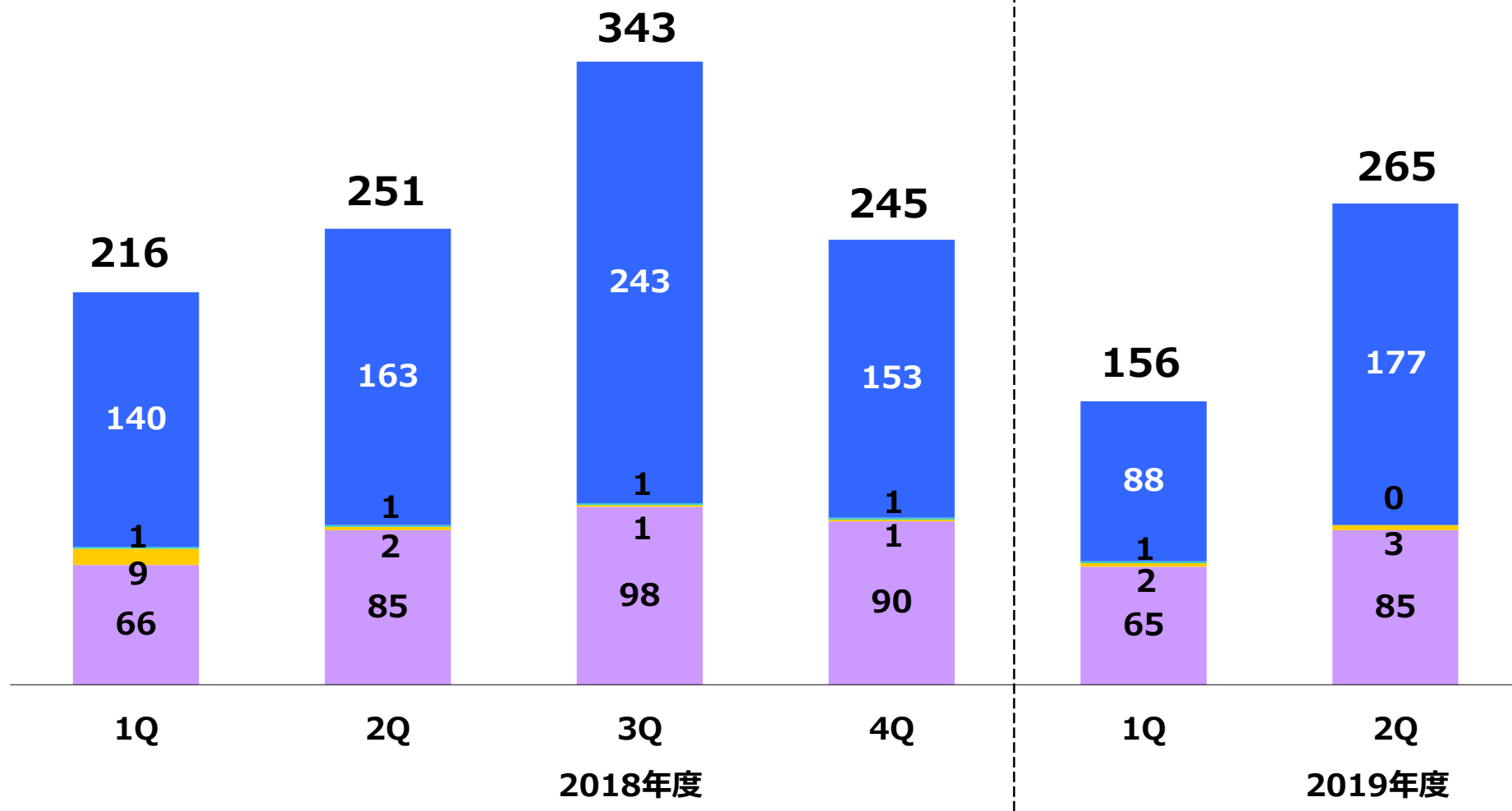
〈単位：億円〉



### 3. 仕向地別売上高の推移（四半期）



〈単位：億円〉



本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。